

四川省江油市李白文化ハイエンドフォーラムに参加して

昨年（二〇一八）十月、四川省江油市で李白文化ハイエンドフォーラム（李白文化高端論壇）が開催され、これに出席した。今回のフォーラムは、二〇一七年に李白が「四川省重大歴史名人」の一人に選出されたことを記念し、「四川國際文化旅行フェスティバルおよび二〇一八年江油『一帯一路』李白文化フェスティバル」（四川國際旅游節暨二〇一八江油“一帯一路”李白文化節、「雙節」と略稱される）開催期間中に執り行われたもので、中華詩詞學會および綿陽市人民政府が主催し、四川省李白研究會、四川李白研究中心、江油市人民政府、江油市李白記念館が運営にあたるという、過去に四川省で開催されたものの中では最大規模を誇る李白研究會となった。中國國內をはじめ、アメリカ、日本、韓国、トルコなど各國から總勢一〇〇名にも及ぶ李白研究者が集い、「當代における李白の文化的價值」を

主たるテーマに活發な學術交流が行われた。

一日目は主會場となる江油賓館で開幕式および大會代表發表が執り行われた。代表發表者として、中國國內からは潘殊閑教授（西華大學、四川省李白研究會副會長）、毛曉紅教授（西南科技大學、四川省李白研究會副會長）ら、韓國からは金世煥教授（韓國釜山大學）、アメリカからは俞寧教授（ウエスタン・ワシントン大學）、トルコからは默罕教授（トルコ語言歷史大學）がそれぞれ登壇し、各國の研究狀況を紹介した。今回、日本からの参加者は筆者のみであったため、直前に依頼を受けて、「日本における李白文化の廣まり（李白文化在日本的傳播影響）」と題して、簡単な紹介を行うことになった。近年の李白關連論文・書籍の紹介や、日本の國語教育における李白詩の採用狀況などをまとめた拙い發表ながら、晝食時に日本の李白研究に興

石

碩

味を抱いた綿陽市の研究者から聲を掛けていただき、交流を深めることができた。

この日は初日ということもあり、親睦を兼ねて、夕方頃に江油市の北十二キロメートルに位置する青蓮鎮の青蓮文化藝術中心に場所を移し、李白の生涯をテーマとする大型詩舞劇「李白歸來」を鑑賞した。詩舞劇とは、文學と藝術を融合させた演劇の一種で、詩歌・音楽・舞蹈などを取り入れた舞臺をさす。今回鑑賞した「李白歸來」は、李白が幼少時代を過ごした四川の地を離れ、中國各地を放浪し、郷愁を抱いて歩み続けた壯絶の人生を描いたものである。最新のプロジェクトマッピング技術を導入しており、李白の魅力が傳わる見ごたえのある舞臺であった。初公演ということでも地元テレビの取材も入った。

二日目は、早朝から「雙節」の開幕式に参加し、その後、李白故居を參觀した。李白故居には、太白祠、隴西院、粉竹樓、洗墨池など、李白ゆかりの遺跡が含まれる。このうち、目玉となる隴西院は、青蓮鎮天寶山西南の麓に位置し、李白が幼年に讀書した場所と傳えられる。唐代に建てられ、北宋の淳化五年（九九四）



に再建され、明末に戦火に遭い、現存する隴西院は清の乾隆五十三年（一七八八年）の跡地に再建されたものであるという。山門に大きく掲げられた「隴西院」の扁額の下には、「弟妹墓猶存、莫謂仙人空浪跡。藝文志可考、由來此地是故居」と刻された石聯が存する。李白故居には他にも、天寶山麓から中腹にかけて、李白の名句「一〇〇あまりが刻まれた石碑（太白碑林）」や、その背後の山頂に聳え立つ太白樓、酒杯を掲げた李白の塑像が置かれている。

午後からは四つの班に分かれて研究発表が行われた。筆者が振り分けられた第三班は、閻琦教授（西北大學）、沈文凡教授（吉林大學）らの司會のもと、總計二十七名の発表者が密度の高い発表と活発な討論を繰り広げた。一部、例を取り上げるならば、蔣衛華教授（西安文理學院）は、『匡山圖志』の記載を考察し、ご自身の祖先にあたる龍安知府・蔣德鈞の李白への傾倒と、その文化的功績について述べた（「清龍安知府蔣德鈞の李白情結——讀『匡山圖志』」）。

劉飛濱教授（四川師範大學）は、長安期前後の李白と五陵豪（五陵少年）らとの交遊は、李白が官職を求める行為の一環として理解されるべきであると指摘した（「李白交游



『五陵豪』考辯」。毛淑靜研究員（湖北省安陸李白記念館）は、安陸を中心とする十年の漫遊期間に李白の性格が成熟し、理想を追い求めるようになったことを論じた（「从李白在安陸十年漫游詩文中看其人物性格和家國情懷」）。また、沈文凡教授（吉林大學）は、李白の文化が韓國の漢詩文にどのように受容されたのか、詳細な事例を取り上げてその特徴を述べた（「李白文化の東亞傳播與接受——以韓國漢詩文獻爲中心」）。他にも、李白の生卒年に關わる新たな解釋も提起され、議論がおおいに白熱した。李白に關する各研究領域の最新動向を知る貴重な情報交換の場となり、きわめて有益であった。

三日目の午前は引き続き研究發表會が行われた。この日は個別の研究發表の後に、皆の關心に基づくフリートークが展開された。周邊的な研究が増える中、今一度李白の作品本體を精讀することの重要性や、海外における李白詩の受容状況を體系的に整理することの必要性などが確認された。さらには、中國における李白を含む古典詩教育の展望といったことにまで議論が及び、大變刺激を受けた。

その後、有志で李白記念館を訪れた。江油市李白記念館は一九八二年に開館し、國內最大規模を誇るといふ。李白の塑像が置かれる太白堂、記念館の中心に位置する青蓮池、李白の事跡陳列館である太白書屋などからなる。陳列館では、一部、日本の李白研究書が展示されているのが確認できた。李白記念館で

四川省江油市李白文化ハイエンドフォーラムに参加して（石）

は、今後定期的に國外で刊行された李白關連書籍を収集し、展示を行う豫定であるという。今回のフォーラムに参加するにあたり、事前に李白記念館の左彩龍氏より依頼を受けて、日本で近二〇年のうちに出版された李白關連書籍を持參した。これに對し、李白記念館からは、『李白故里文化叢書』『李白研究論叢』『李白記念館藏歷代名家畫李白』などの書物のご惠贈にあずかった。

午後は綿陽師範學院磨家校區に移動し、班ごとに研究發表の概要を報告した。その後、四川省李白研究會會長の楊栩生教授（綿陽師範學院）をはじめ、葛景春教授（河南省社會科學院）、閻琦教授（西北大學）、薛天緯教授（中國人民大學）らによる總括を経て、綿陽師範學院内にある四川省李白研究中心を見學し、三日間に及ぶフォーラムは幕を閉じた。

四川省李白研究會は、一九八四年に四川省江油市で創設され、中國國內にある最も古い李白文化研究機構である。當初は隔年で學術檢討會を開催しており、その後、一九九一年に江油市が李白文化フェスティバル（李白文化節）を設立したことを契機として、一九九二年、二〇〇一年、二〇〇四年、二〇〇六年、二〇一二年、二〇一五年の李白文化フェスティバル期間中に李白文化檢討會を開催するようになった。二〇一二年より、李白文化檢討會は「李白文化ハイエンドフォーラム」（李白文化高端論壇）と名を改め、李白の足跡に關する研究、詩歌に關する

研究、李白の文化的意義に關する研究、李白文化の當代における價値の研究などをテーマとし、學術交流會を開催。李白研究に携わる研究者の交流を促進し、李白文化研究の視野を廣げることが目的とする點が特徴的である。現在は概ね三年ごとに大型のフォーラムがひらかれ、毎年小規模の學術交流會が開催されているという。

今回のフォーラムに参加してまず驚いたのは、豫稿集の分厚さである。八十二篇もの論文を収めた冊子には、李白に關連する諸分野の研究成果がならび、李白研究の裾野の廣さを今一度實感した。フォーラムには、四川省をはじめ、湖北・山東・安徽など、李白ゆかりの地域から大勢の研究者が参加し、大學のみならず、高校や研究機關、メディアなどからも参加者が集まった。四川省李白研究會の主導で行われたフォーラムとあって、李白の作品と巴蜀文化の關連に着眼した論文や、「蜀道難」をはじめとする四川の景物を主題とする李白作品の分析、また李白の出自に關する考證や、幼少期の傳説の整理など、地域色が濃く見受けられた。また、「李白の文化的價値」というフォーラムのテーマに合わせて、李白文化の保護や、各種展覽會の實施狀況の報告、また江油市の李白關連遺跡をいかに地域振興と結びつけるのか、といった視點からの論文も複数見られた。江油市をはじめ、湖北省の安陸李白記念館や安徽省の馬鞍山李白記念館など、各地域の李白記念館の研究員らが一同に集まり、

地域を横斷した李白研究者の輪が築かれる瞬間を目の當たりにした。

フォーラム期間中の食事は、基本的にはすべてが立食形式だったため、その都度同席となった参加者から様々なお話を聞くことができ、おおいに啓發を受けた。ただし、研究發表の妨げとなることを恐れてか、白酒が提供されたのは最後の晚餐のみであった。「詩仙閣李白故里酒」と銘打たれた美酒は、地元江油市の特産品だ。

餘談ながら、今回のフォーラムではほぼ名刺交換は行われず、携帯アプリ「微信」のやり取りが中心であった。参加者をメンバーとする「李白研究中心」なるトークグループに追加していただいたことにより、歸國後も、關連分野の諸先生方の動向が随時通知される。國際學會に参加して得た成果を噛み締めつつ、改めて身が引き締まる思いである。

※文末にフォーラムの日程表および豫稿集論文一覽を附す。

四川省江油市李白文化ハイエンドフォーラムに参加して（石）



①李白文化ハイエンドフォーラム全體寫眞



2018四川國際旅游覽江油“一帶一路”李白文化節

李白文化高端论坛

论文资料集

(内部資料、仅限会议使用)

二〇一八年十月

论坛日程安排

	时 间	内 容	地 点	参加人员
10月23日	8:00-20:00	报到	江油宾馆	与会嘉宾
	8:00-12:00	报到	江油宾馆	
	12:00-13:00	欢迎餐叙	江油宾馆会议中心二楼	
	14:00-16:30	开幕式及大会交流发言	江油宾馆会议中心二楼	
	18:00-19:00	晚餐	江油宾馆会议中心二楼	
	20:00-21:30	观看“李白归来”精品剧目演出	青莲文化艺术中心	
	7:00-8:00	早餐	江油宾馆会议中心二楼	
	8:00-8:40	乘车前往金棚广场	青莲镇	
	8:40-9:40	“两节”开幕式	青莲金棚广场	
	9:40-12:00	宣读李白诗歌小镇考察启动	青莲镇	
10月25日	12:00-14:00	午餐	江油宾馆会议中心二楼	李白文化研究专家
	14:00-17:00	分组交流会	江油宾馆（东四、五、六楼会议室及一楼明月厅）	
	17:00-19:00	晚餐	江油宾馆会议中心二楼	
	19:30-21:00	观看友好合作城市专场文艺演出	青莲镇	
10月26日	7:30-9:00	早餐	江油宾馆明月厅	李白文化研究专家
	9:00-12:00	分组交流会	江油宾馆（东四、五、六楼会议室及一楼明月厅）	
	10:00-12:00	“重遇李白”古典诗词与音乐演奏会	李白纪念馆二楼	
	12:00-13:00	午餐	江油宾馆明月厅	
10月27日	13:00-14:30	乘车前往绵阳师范学院绵阳校区	江油宾馆	李白文化研究专家
	14:30-17:00	小组汇报及论坛闭幕	绵阳师范学院绵阳校区	
	17:00-17:30	参观李白研究中心、合影留念	绵阳师范学院绵阳校区	
	17:30-19:00	晚餐	绵阳师范学院绵阳校区	
10月28日	离会			

③李白文化ハイエンドフォーラム論文集表紙 ②李白文化ハイエンドフォーラム日程表

江湖李白文化产业发展思考	刘永云 255
唐诗折射出李白的传奇人生	刘学智 261
李白《少年行之二》背后的中唐文化	马 琴 266
从李白在安陆十年漫游诗中窥见其人物性格和家国情怀	毛淑静 270
李白文化当代价值与我国中西部地区李白诗酒文化 产业发展对接运用研究	毛晓红 甘成英 毛 君 贾明晓 275
南阳李白文化国际影响力对接“一带一路”战略响应与路径选择	毛晓红 甘成英 毛 君 贾明晓 284
我们在世界诗坛中表现出李白最鲜明的艺术特色	数罕·我李白 299
李白生于公元 705 年	耿成贵 304
当代视野下的李白文化价值初探	盛继刚 313
李白家世背景中四个重要元素探究	祁和群 319
李白文化的当代价值	沙 刚 326
李白的自由精神	倪 亮 335
李白文化的东传传播与接受	沈文凡 342
李白诗中的李白	施议对 365
李白对文学地理的开拓	石 磊 368
李白与个性文化的当代思考	孙琴安 375
文化自信视域下李白文化的教育价值及其资源开发建议	唐之斌 379
李白格律诗谱研究——以“华调”为例	王传周 387
借李白杯酒 渡胸中块垒 冯梦龙《李调仙醉草环翠诗》的文化价值	王定坤 397
与江油唐诗小镇羊耳岩兰探讨李白文化品牌中的两个问题	王国巍 402
韩国诗坛中的李白诗歌汉文赏析	王红霞 冉 楠 407
李白家父王昌龄	王树斌 414
李白《丁都护歌》的黄龙主题（上）	王慧清 422
李白诗歌口语化现象及其文学史意义	王佐良 435
明代李杜合刻现象及其文学史意义	王永波 435
李白求仙的历史继承与时代蜕变	况增辉 444
从李白东鲁桑落诗看光州与古丝绸之路	武 秀 458
简论李白的巴文化书写（未定稿）	徐希平 462
唐诗话中的李白经典接受	徐小洁 468
论巴蜀文化对李白依意识的影响	严正道 476
请读《诗仙》李白的生命延续一年	阎 琦 薛天伟 482
首推四川历史名人李白研究中心建设目标与任务	杨 辉 冯 芬 485
“李白精神”之新说	杨继生 489
从《古风五十九首》看李白的人生、政治、文学观念	葛可情 495

目 录

古调与时调——《蜀道难》文本与传播	殷群球 1
何人不起故园情：太白故里，诗意江湖	陈才智 9
李白的歌唱与诗仙的形象	陈才智 14
论李白人格形象的多面特征	廖际银 20
浅析诗人李白的政治理想	邓希超 25
李白：中华民族一面文化自信的大旗	丁耀鸿 28
陶铸、王雄、李白赠序文的盛唐气象	杜文婕 41
李白诗的人物与时空意识	高敏敏 49
李白诗对李之仕途的影响	高寒琴 54
白鹤、白鸢、白鹤与李白之“白”新探	谷德佳 59
李白研究学术史上的标志化成果	谢 滨 66
李白与阿塔耳诗歌音乐之比较研究	谢冠翼 72
英美学者对李白诗的翻译和研究——“两”位师父	黄维强 81
李白是功夫高手的可能性元素发掘之李白的“两”位师父	黄文正 92
潜龙发潜 蒋德特的李白情结	曹卫华 95
李白的民间传说与历史真实	蒋 志 103
诗仙李白	蒋 志 110
《蜀道难》二刷	耿永超 136
《周易》卦象的渐健象与李白诗歌的风骨美	廖怀远 139
唐代陈合刻《李太白集》论考	雷 震 142
汲取精华 主为引导	李伟光 165
《李白杜诗与绝句》整理文本	李德书 168
论李白的个性性格及现代意义	李芳民 173
余光中——李白的嫡系传人	李元浩 187
报媒·教育 携手共举 倡议报刊媒体如何弘扬李白文化	李正强 201
李白的身份自许论议（论纲）	梁 森 204
李白的儒家思想印记	廖 斌 207
李白之父史事考述	林 横 219
李白父祖“五侯七贵”考论	刘飞跃 李文玉 233
《古风》五十九首合成一篇大文字	刘皓平 241
我所认识的林东蓓	刘淑萍 252

⑤李白文化ハイエンドフォーラム論文題目一覧(2) ④李白文化ハイエンドフォーラム論文題目一覧(1)

李白文化资源在幼儿园儿童戏剧教育中的应用研究	金 鑫 505
阳光下的旧事：李白诗中的鹧鸪声写	俞 宁 509
李白佛教诗歌略论	章书石 517
人生得意须尽欢	詹德福 521
简论边贡对李白的接受	张 海 唐 昀 534
论杨齐芳、屠士赞注对李白作品内涵的把握	张 海 540
《蜀道难》与“谪仙”之称的关联辨正	张思君 550
民间故事中的李白现象及认识	张廷耀 556
李白之于当代的现实意义	赵 斌 559
以我为主，惟我独尊——李白个性的根本出发点	赵 耀 570
元人的选择成就了李白永恒的文化符号	赵山山 576
读谈毛泽东编选的《诗词若干首》	周维天 587
李白诗歌中的道教思想研究	朱德胜 唐 瑞 591
试论《方輶记》中“铁桥磨剑”传说的选址	朱瑞昌 600
改革开放 40 周年，李白纪念馆建设取得的成就和经验	左彩龙 罗 环 敬永波 603

⑥李白文化ハイエンドフォーラム論文題目一覧(3)